

学習者用文型リストに
「やりとりモード（＝会話モード）」が
必要な理由

山崎直樹（関西大） 植村麻紀子（神田外語大） 鈴木慶夏（釧
路公立大） 中西千香（愛知県立大） 西香織（北九州市立大）

日本中国語学会北海道支部例会
（北海道大学, 2015.3.21）

アウトライン

1. 既存の文型リストはなぜ中国語教育に使いにくい
か
2. 我々はどんな文型リストを作っているか
3. 「やりとり」モードがなぜ必要か？

既存の文法項目表

いくつかあります。

语法项目	结构形式	举例
1.14 动词谓语句 1.14.1 “是”字句 1.14.2 “有”字句	主语 + 动词 + 宾语 主语 + 是 + 宾语 主语 + 有 + 宾语 主语 + 没有 + 宾语	我姓王。 玛丽是美国人。 我有一个弟弟。 我没有电子词典。
1.15 形容词谓语句	主语 + 副词（很、 非常）+ 形容词	我很高兴。 玛丽非常漂亮。
1.16 名词谓语句	主语 + 年龄 主语 + 钟点 主语 + 星期 主语 + 年 / 月 / 日 主语 + 钱数	我 20 岁。 现在两点半。 今天星期日。 今天 11 月 13 号。 这本词典 20 块钱。

语法项目	结构形式	举例
1.10 副词的意义及位置		
1.10.1 程度副词“很、非常、真”	很 / 非常 / 真 + 形容词	<p>我很好。</p> <p>她非常漂亮。</p> <p>真好!</p>
1.10.2 程度副词“太”	太 + 形容词 太 + 形容词 + 了	<p>这本书太贵。</p> <p>太好了!</p>
1.10.3 副词“也”(表类同)	主语 + 也 + 动词 (短语)	我也去。
1.10.4 副词“都”(表总括)	主语 + 都 + 动词 (短语)	我们都是留学生。

7-3 賓語

文法用語として、賓語は英文法で目的語とする文成分と似ているが、中国語では動作動詞の動作を受ける語ばかりでなく、動詞との意味関係が多岐にわたるため、目的語の呼称が適切でないこともある。入門段階では賓語を説明する場合に、目的語と呼ぶこともあり得る。用語として賓語が望ましいが、説明的には目的語も用いることとする。

動賓連語における、動詞と賓語の意味関係は多様である。

吃饭 写信 去北京 是我 有人
来客人 下雨 喜欢玩儿

動賓連語のうち、動詞と賓語の意味関係を一般化しにくい(類型化できない)、個別的な慣用句は常用するもののみ熟語として取り上げる。

初級段階であつかわない例
× 写黑板 × 吃*大碗 × 洗*温泉
慣用句の例
○ 开玩笑 ○ 开*夜车

7-4 述語の構成から見た基本構文

動詞述語文

賓語のない文

我去。 你看!

賓語のある文

我看书。 他去北京。

動詞“是”を用いる文

他是学生。 今天(是)星期日。

動詞“有”を用いる文

我有(一本)字典。 屋子里有人。

8-8 副詞

副詞は動詞の修飾語(連用修飾語)としてのみ用いるが、“不”“別”“也许”など、単用できるものも若干ある。

時間副詞

正 在 正在 才 刚 一 立刻 马上
已经 早就 一直 先 从来 快 忽然
常常 老 经常 渐渐 有时候

程度副詞

很 太 最 非常 特别 更 越
有点儿 真 比较 好 多 互相

範圍副詞

都 总 一起 一块儿 一共 就 只 只好

関連副詞 (重複、連続)

还 还是 又 再 也 一边

語気副詞

大概 也许 恐怕 一定 必须 到底
可 当然 原来

否定副詞

不 没 没有 不用 别 不要

ここから直接 教材を作れるか？

既存の文法項目表は中国語の学習には使いにくい

なぜか？

文法項目表の目的は何？

- (A) 中国語の基本的な構造を理解させる
- (B) 中国語を使えるようにする

(A) 中国語の基本的な構造を

.....

- 項目表をすべて理解すれば中国語の基本的な構造を理解できるという保証は？
- 学習者が中国語を学ぶ動機の多くは、「中国語を使えるようになりたい」であって、「中国語を理解したい」ではない。

(B) 中国語を使えるように…

- 〈コミュニケーション〉 対 〈文法〉 ？
- 文の構造への理解なしに創造的な産出は？

何ができるように？

「中国語を使える＝中国語を使って何かを
することができる」

しかし……

文法項目表を理解したら「何ができるよう
になる」のか、項目表からは見えてこない

- [A是B] という構文が文法項目表にある。これについて...
- Aクラスでは“这是什么？—这是书。”というダイアローグを学んだ。
- Bクラスでは“你是学生吗？—是的。”というダイアローグを学んだ。
- この2つのクラスの学習者は、この構文を「使える」と言ってよいか？
- また、この2つのクラスの学習者ができるようになったことは同じか

もう1つの疑問

- これらの学習者が「[A是B] を使えるようになったと言える」と仮定しても、その段階と「中国語を使って何かをすることができる」という目標の間には、まだギャップが存在するのではないか？

我々が作っている文型リスト

- 「中国語の基本的な構造を理解させる」が目的ではない
- 「これさえ覚えれば○級合格」という種類の目的で作られたものではない

準拠している枠組み

『外国語学習のめやす: 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』

〈めやす〉と呼んでください

〈めやす〉

新しい外国語教育の枠組み

Standardsの提示

15の話題領域におけるコミュニケーション能力指標

コミュニケーション能力指標

- 「～することができる」という形での能力記述
- 「能力」の証明は具体的かつ客観的に観察可能な行動「～することができる」
- 「中国語を使って何をするようにしたいか」からの出発

アプローチが逆

既存の文法項目表：

どのような言語素材→何ができるように

〈めやす〉：

何ができるように→どのような言語素材

すぐに学習に使えるか？

- 文法から出発したのとは逆の問題が生じる
- ある指標（例：普段持ち歩いているものや身につけているものについて、会話できる【日常生活】）を達成したいと考えて授業を設計する時、まずぶつかるのが「どんな言語素材（文型、語彙）を使ったらよいのか」である

どんな言語素材を

教師が個々にこれを考えるとしたら……

- 時間と手間がかかる（誰もやりたがらない）
- 教師の能力が教材の質に影響を
- 隣のクラスとやっていることが違う

我々のアプローチ

1. 指標をタスクに分解
2. 言語表現の抽出
3. 変項と定項を定義して文型を設定
4. 語彙リストの確定

1. 指標をタスクに

- **指標**：自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる（話題領域：食、レベル1）
- **タスク**：
 1. 好きな／嫌いな食べ物・飲み物を伝える。
 2. ふだんの生活で食べないものを伝える。
 3. 何らかの理由で食べられないものを伝える。

2. 言語表現の抽出

タスク：自分がどこで何を学んでいるかを伝える。

言語表現：我在大学学习汉语。

3. 変項と定項

変項	表現例 (緑色 部分が変項)	文型
3	我 在 大学 学 汉语	〈ヒト〉 在 〈学ぶ場所〉 学 〈学ぶ対象〉
2	我 在 大学 学 汉语	我 在 〈学ぶ場所〉 学 〈学ぶ対象〉
1	我 在 大学 学 汉语	我 在 〈学ぶ場所〉 学 汉语
0	我 在 大学 学 汉语	我 在 大学 学 汉语 (定形表現)

4. 語彙リスト

変項1		変項2	
我 在	〈学ぶ場所〉 大学 高中	学	〈学ぶ対象〉 汉语 英语 数学

本題

我々の文型リストは、文型を3つのモードに分けて記述している

〈伝える〉

〈理解する〉

〈やりとりする〉

3つのモードとは

〈めやす〉 の3モード	提示的コミュ ニケーション	解釈的コミュ ニケーション	対人的コミュ ニケーション
我々の文型 リスト	伝える	理解する	やりとりする

なぜ「やりとり」モードが 必要か？

(言語／中国語には) 「会話のやりとり」モードでないと学べない重要な制約がある

〈やりとり〉 でないと 学べないこと

1. 協調的非共鳴型応答
2. 応答における省略の程度と待遇度の高低
3. 共鳴度の低い応答と省略の容認度

協調的非共鳴型応答

- 共鳴型応答と非共鳴型応答
- 〈協調の原理〉

(統語論的) 共鳴

Q: 你有表吗?

A1: 没有。 (Qと平行した統語構造 = 共鳴度が高い)

A2: 我的手表很贵，二十多万买的。

〈協調の原理〉

参加している会話で受容されている目的や方向が、その段階で求めていることに従って、発話を行え
(Grice)

〈会話の含意〉 を考えると

Q: (時刻を知りたいという意図で) 你有表吗?

A1: 有。 (と答えて、その後何もしない)

A2: 现在9点半。

共鳴と協調は別

	統語的共鳴	協調の原理	例
A	+	+	对不起, 没有。
B	+	-	有。
C	-	+	现在9点半。
D	-	-	我的手表很贵……

〈-共鳴〉

〈+協調〉

Q: 你是什么血型?

A1: 不知道。

A2: 为什么?

Q: 你感冒了吗?

A: 没事。

Q: 这儿有人吗?

A: 不好意思，我老婆就回来。

明示的な知識が必要

以上のような会話をスムーズに行うためには、「常用されるパターン」を習得しておく必要がある。

2. 省略と待遇度

(1)

教師: 朝ごはんは食べた？

学生1: 食べた。

学生2: 食べました。

(2)

教師: どこから来たの？

学生1: 釧路。

学生2: 釧路です。

学生3: 釧路から来ました。

2. 省略と待遇度

(1)

老师: 你今天吃早饭了吗?

学生1: 嗯, 吃了。

学生2: 嗯, 我吃了。

(2)

老师: 你是从哪儿来的?

学生1: 西安。

学生2: 从西安来的。

学生3: 我从西安来的。

(リレーの選手の名簿を一瞥した教師の質問)

老师: 李四跑得快吗?

学生1: 快。

学生2: 嗯, 快, 老师。

学生3: 嗯, 他跑得快, 老师。

明示的な知識が必要

日本語：文末表現を操作。主語は省略が自然。

中国語：？

このような差異は明示的な知識として与える必要がある

共鳴度と省略の容認度

Q: 你今天吃早饭了吗?

A: 嗯——，我一般不吃（早饭）。

※友人相手でも“我”が必要？

※教師相手なら“早饭”もあったほうがよい？

共鳴型の応答では 省略の容認度が下がる？

友人相手でも“我”が必要 > 待遇度以外の理由

教師相手なら“早饭”も > 待遇度の問題

明示的な知識が必要

Q: 朝ごはんを食べましたか？

A: あ～、（わたし）朝ごはんはふだん食べないんです。

〈やりとり〉 でないと 学べない

【例】

1. 頻出する非共鳴型応答
2. 省略の程度と待遇度の関係
3. 共鳴度が低い応答における省略の容認度

他にもあるでしょうか……？